

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

平成30年7月9日 成果指数決定
平成31年3月30日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

本計画の初年度に、目標の達成状況を評価するための指数を検討する。計画期間終了後、指数に基づく評価を実施し、評価結果は市のホームページ等で公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。老朽化の激しい校舎の内外装を集中的に改修したことで生徒や教職員の教育環境整備ができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

平成31年4月1日に伊良湖岬中学校が福江中学校へ統合することにより、生徒数が増加した。現在の福江中学校の校舎は老朽化しており、内外装の改修を行なうことで、子供たちが生き生きと学習や生活を行なうことのできる施設環境を確保した。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
福江中学校(一期工事)	(4)	08	統合(改修)	校	R	H30.7～H31.3	H31.3.28		R1.福江中学校(二期工事)伊良湖岬中学校解体

施設整備計画事後評価

凡例： A 概ね良好 C 広範囲に劣化
 B 部分的に劣化 D 早急に対応する必要がある。

●評価前

建物基本情報														劣化状況評価					
通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産 台帳番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
						学校種別	建物用途				西暦	和暦							
85	4507	福江中学校	管理教室棟	4-1、2、 3、4、5	2102106- 6、25	中学校	校舎	RC	2	2,132	1963	S38	54	B	C	C	B	B	52

●評価後

85	4507	福江中学校	管理教室棟	4-1、2、 3、4、5	2102106- 6、25	中学校	校舎	RC	2	2,132	1963	S38	54	B	A	A	A	B	95
----	------	-------	-------	-----------------	------------------	-----	----	----	---	-------	------	-----	----	---	---	---	---	---	----